

知財ist研修2018シラバス

【知財ist研修2018】	
課程	実務課程
科目	特許審査審判中間手続き（意見書・補正）
副題	～拒絶理由への対応、事例を挙げて考え方を学ぶ～
日程	2018年7月11日（水） 10:00～17:00
講師	影山特許事務所 弁理士 影山 秀一 氏
科目別受講料	会員18,000円、一般22,000円（消費税8%含む、テキスト代含む）
おまとめ受講料	全課程おまとめ受講料（45日間） 会員500,000円、一般600,000円 実務・訴訟・海外おまとめ受講料（19日間） 会員280,000円、一般350,000円 実務課程おまとめ受講料（8日間） 会員130,000円、一般162,000円
説明	本科目では、知財実務担当者、および法務関係者のために、特許の審査・審判における中間手続き（意見書・補正）について、審査官・審判合議体の判断過程を考察するとともに、拒絶理由への合理的な対応を事例を挙げて詳細に解説いたします。
レポート、演習の有無等	講義中にレポート課題を提示します。希望者は講師による採点を受けることができます。（おまとめ受講者で、知財ist研修の修了証書が必要な方はご提出が必須です。） レポートの返却は、ご提出期限より2、3カ月後となります。
事前質問について（研修日より1週間前まで）	研修当日に、講師にお聞きになりたい事項等ございましたら、7/4までにメール（chizaist@jiii.or.jp宛）にて承ります。 （ご質問の内容によっては、講義時に講師より直接説明を求められる場合もございます。）

知財ist研修2018シラバス

<p>研修項目予定 (昨年度目次例等)</p>	<p>1. はじめに 2. 拒絶理由通知 3. 拒絶理由に対する補正 4. 第36条(明細書の記載要件) 〔事例A～E〕 5. 第29条第1項(新規性)〔事例F〕 6. 第29条第2項(進歩性)〔事例G～K〕 7. 第29条の2(拡大先願) 8. 第39条(先後願)〔事例L〕 9. 第37条(単一性)</p>	<p>10. 第36条第4項第2号(先行技術情報文献開示要件) 11. 第44条(分割)</p>
<p>参考書籍等</p>		
<p>過去受講された方々からの感想等</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・実際の拒絶対応の説明がまじえてあってとてもわかりやすかった。また、様々な拒絶理由を知ることができ面白かった。</li> <li>・多い実例を挙げられて、とても良かったと思います。</li> <li>・現在、拒絶対応を行っており、大変参考になった。</li> <li>・講師の方に「どんな質問をしても誰も笑いませんよ。」と言っていただき、安心して質問をすることができました。</li> </ul>	
<p>研修をご欠席される場合は。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・代理の方のご出席も可能です。事務局までご連絡願います。</li> <li>・ご欠席された場合は、研修にて使用したテキスト等配布資料を、後日、送付(ないし直接お渡し)いたします。</li> <li>・希望者は、講義(講師の声のみ)を録音したCDを借りることができます。事前にご連絡いただき、直接事務局まで借りに来ていただいております。(返却は郵送でもかまいません。)(貸出期間約3週間、詳しくは事務局にお問い合わせください。)</li> </ul>	
<p>弁理士会継続研修</p>	<p>本科目は、日本弁理士会の継続研修として申請中です。本研修を受講し、所定の申請をすると外部機関研修として、5.5単位が認められる予定です。</p>	

2018.5.10